

信州大学における GakuNin RDM導入事例

2022年6月1日

信州大学附属図書館 情報システムグループ主査

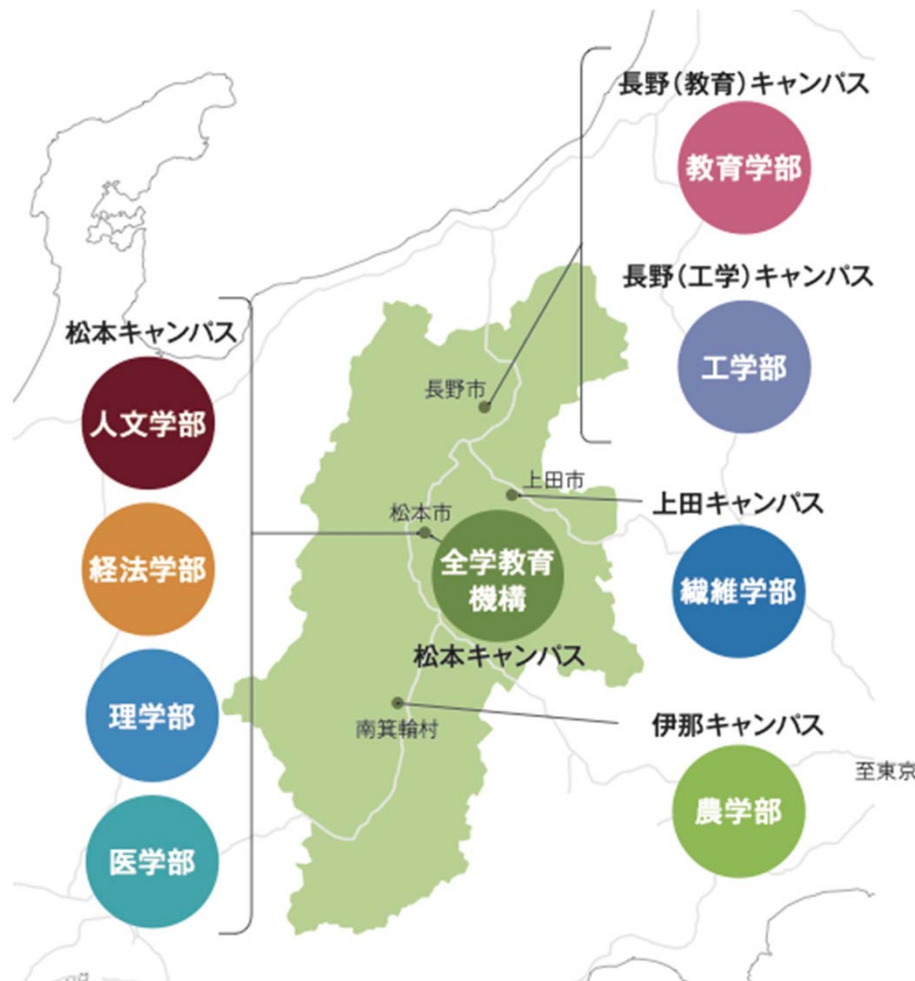
岩井雅史



本日の報告内容

- 信州大学の概要と研究データに対するニーズ
- GakuNin RDM導入に至る経緯
- GakuNin RDMの運用体制と運用状況
- 今後の取組とGakuNin RDMへの期待

信州大学の概要



5キャンパス・8学部の
総合大学



研究データ基盤へのニーズ

- 離れたキャンパス間でのセキュアなデータ共有
- 多様な分野の研究データを扱える

GakuNin RDM導入に至る経緯(1)

2018/3	研究データの保存等に関する ガイドライン(いわゆる10年保存)	研究担当 理事裁定
	このタイミングで、GakuNin RDM等の動向について研究推進部と情報交換・意見交換	
2019/3	将来的に保存先として 「GakuNin RDMを視野に」 検討を行うことを了承	不正行為 防止計画 推進室会議
2019/5	GakuNin RDM実証実験(第2 期)参加	関係職員

GakuNin RDM導入に至る経緯(2)

2019/7	オープンサイエンス推進部会 設置	附属図書館
2020/10	研究データに関する項目 (データの種類、容量等)を 含む教員アンケートを実施	OS推進部会
2020/12	GakuNin RDM先行利用開始	附属図書館・ 総情センター
2021/1	GakuNin RDM正式導入決定	OS推進部会

研究データ管理に関わる学内組織(1)

■ オープンサイエンス推進部会(2019.7～2022.3)

□ ミッション:

- オープンアクセス方針策定(2021.8 施行)

<https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/e-information/openaccesspolicy.html>

- 研究データ管理についても学内アンケート・インタビュー等

□ 附属図書館の学術情報・図書館委員会の下

□ 附属図書館長を中心に、各部局の教員

+ 総合情報センター + 研究支援課(オブザーバ)

研究データ管理に関わる学内組織(2)

■ 研究データ作業部会(2022.4～)

□ ミッション:

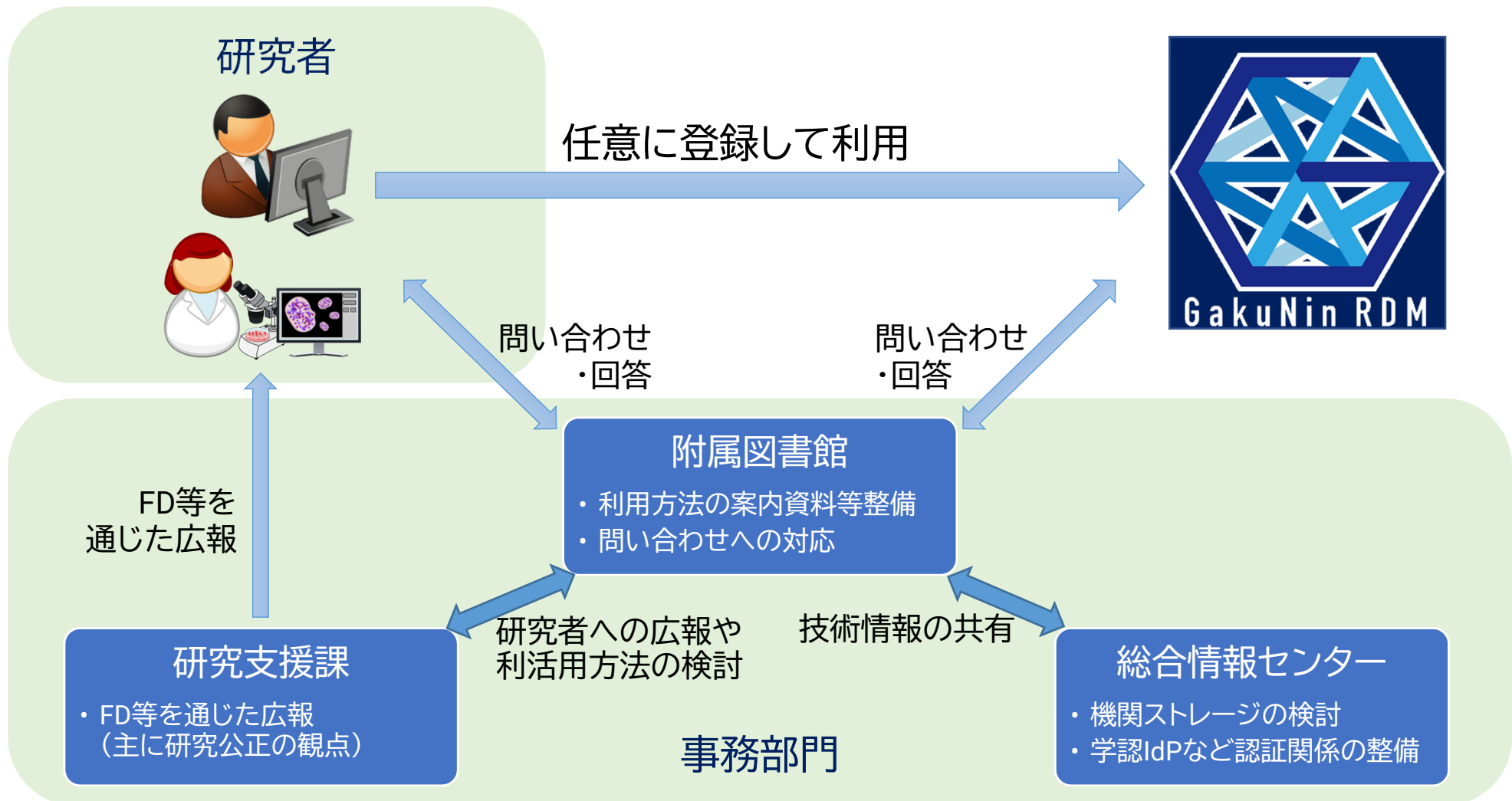
- 研究データポリシー策定
- 研究データ管理基盤や支援体制の検討

□ 本部組織「情報・DX推進機構」の下

□ 理事(情報・DX担当)、理事(研究、産学官・社会連携担当) 中心

□ 研究支援課・附属図書館【事務局担当】・総合情報センター

GakuNin RDMの運用体制



GakuNin RDM導入にともなう施策

- GakuNin RDMの学内運用要項を制定
 - 機関リポジトリの運営要項をベースに
- GakuNin RDMの学内向け説明ウェブページを作成
 - 登録・利用方法、要項、FAQなど
<https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/use/gakunin-rdm.html>
- 研究不正に関する学部説明会などでGakuNin RDMを紹介
 - GakuNin RDMメインの説明会はまだ

導入後の運用状況

- 利用者は徐々に増加しているらしい
 - 学科単位で利用をすすめている学科もある
- 時々問い合わせあり
 - ログインまわり
 - ストレージ関係 など
- たまに不具合あり 報告して修正をお願い
- 機関ストレージは未整備のため、標準ストレージ (100GB) + 拡張ストレージを各自で接続する形

これから取り組むこと

- 機関ストレージの確保
- 学内向け説明会等の周知活動
- 利用事例の形成
 - 利用者インタビュー等
- 研究データポリシーの策定

GakuNin RDMへの期待

- 共通メタデータ項目への対応
- DMPへの対応
- 機関リポジトリとの連携
- 利用事例・グッドプラクティスの発信
 - <https://www.youtube.com/playlist?list=PLKzfdUM-Rtgyj44t821KN1x05lt78Ea40> (動画)